

## 会 議 録

### 1 会議名

令和4年度 第3回三郷区地域協議会

### 2 報告（公開・非公開の別）

（1）令和4年度地域活動支援事業の審査結果について（公開）

### 3 議題（公開・非公開の別）

（1）「地域活性化の方向性」の検討について（公開）

### 4 開催日時

令和4年6月3日（金） 午後6時30分から午後7時14分まで

### 5 開催場所

三郷地区公民館 集会室

### 6 傍聴人の数

1人

### 7 非公開の理由

—

### 8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）  
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荏戸 正、平田 清、平田伸一  
山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者なし）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

### 9 発言の内容

#### 【難波主任】

- ・ 12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

#### 【竹内会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：平田清委員、平田伸一委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

・資料により説明

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3報告（1）令和4年度地域活動支援事業の審査結果について —

【竹内会長】

次第3報告（1）令和4年度地域活動支援事業の審査結果についてに入る。

昨日6月2日に、地域活動支援事業の事業説明が各提案者から行われた。行政による審査という初めての試みであったが、その結果について、事務局から説明を求める。

【難波主任】

・当日配布資料No.1により説明

【竹内会長】

今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

以上で次第3報告（1）令和4年度 地域活動支援事業の審査結果についてを終了する。

— 次第4議題（1）「地域活性化の方向性」の検討について —

【竹内会長】

次第4議題（1）「地域活性化の方向性」の検討についてに入る。

前回の会議では、事務局から地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について説明があり、この中で令和4年度中に「地域活性化の方向性の作成」に着手してほしいとの依頼があった。

地域において、特に重視したいこと、大切にしたいことをスローガンとしてかた

ちにするというものだが、これまでに当協議会で審議してきた内容を振り返ること  
で、アイデアを出してもらうためのヒントになるのではないかと考えている。

事務局から説明を求める。

**【難波主任】**

- ・資料により説明

**【竹内会長】**

今ほどの説明を受け、三郷区の個性や強み、特性等について、地域資源、産業、  
農業、自然等、幅広い分野から自由にアイデアを出してほしい。意見を求めたいと  
思う。

今回の地域活性化の方向性の作成については、三郷区がいち早く、協議が始まっ  
ているのではないかと事務局より聞いている。

本日の方向性の作成については、「これだ」と決めつけないでおこうと思ってい  
る。

本日は、委員から各自が考えているものを出していただき、出た意見を整理して、  
後日、確実なものにしていきたいと考えている。

本日は、いつもとは逆回りの順番で意見を求めていく。

最初に私から話しをする。

本日、この資料をいただき、令和元年度、2年度に関しても、全て私も絡んでい  
る話であった。

三郷には農業という、やはり昔から一番魅力的なものがある。

私もいろいろな要職をいただいております、現在、農業委員も務めている。また、土  
地改良区の圃場整備の促進協議会の顧問も務めている。その中での幹事関係等の役  
員も務めている。

今後、大きく変わろうとしている、三郷の圃場整備に期待しているところである。

やはり、三郷区としては、農業が今後とも発展していけばよいと思っている。こ  
ういったことを今後の方向性・活性化する方向性にしていけばよいと考えている。

資料の基本形の文言からいうと、三郷区の活性化に向けて、三郷区の豊かな農村  
地域と美田を生かした、農産物のブランド化を目指します、といったかたちの中で

考えてもよいと思う。平坦な農地、豊富な資源も抱えているため、そういったものを利用し、昔からの米どころで良質な米ができることも魅力である。

また高収益作物というか、今後は、園芸等も含めて農業が確立されていけば収入的なものも変わっていくのかと思う。六次産業というか、冬場でもそういうものができれば、雇用もできる。それを目指して、地域に受け入れられる新規就農者というか、若者が三郷区に根づいてもらえるよう、そういったことも考えていきたいと思う。

令和元年に人口減少の課題について取り組んだときも、地域協議会で空き家の調査を行ったところもある。三郷区でも、空き家として残っているところもある。そういったものを活用できれば、農家民宿等もでき、そこへ新規就農者を招き入れるような考え方もできると思う。

そういったことを踏まえながら、地域活性化に向けての方向性を考えていけばよいと思っている。

あまりまとまらないところもあるが、以上が私の考えである。

次に、保坂副会長から順に発言を求める。

#### 【保坂副会長】

竹内会長がたくさん、素敵なことを発言してくれたため、それに付け加えるようなかたちの発表になるかと思う。

三郷区には、豊かな大地ということで、農業・利便性も含めて「大地」という言葉が素敵だと思っている。

構成要因としては、現在、三郷地区の歴史・史跡を研究する会で行っているような、国分寺の推定所在地といった歴史的なことや、景色がよい、人のよさ等、そういったところを構成要素として組み込んでいってはどうかと思っている。

#### 【渡部委員】

私は、よいところよりも、問題点のほうが頭に浮かんでしまったため、まずはそこをクリアしていかなければ、発展性というところには頭が回らないと思う。

先ほどの竹内会長の話にあった、農業に関してもすごく問題点がある。圃場整備をしていくうえで農業から離れる人が多くなり、農村なのに農村ではない、農村の

形態が崩れていき、「ここにいなくてもよい」となってしまい、結局、跡継ぎがおらず高齢者のみが残っているような問題がある。そういったところをきちんと話してからの方向性でなければ、自分の頭の中ではあまり浮かんでこない。

**【竹内会長】**

本当にそうだと思う。

田んぼが多くなっても、耕作する人がいなくなってしまうと、本当に離農する人が多くなるため、なかなか難しい問題だと思う。

その辺の問題が多いため、活性化につながらないというところもあると思う。

**【吉田委員】**

方向性について、まず一つ目は「地域の課題解消」ということで、今取り組んでいる自主的審議事項を挙げたいと思う。

もう一点は、三郷区のよいところと当日配布資料No.2の「審議事項（案）」「テーマ（案）」を組み合わせることによって、スローガンができるのではないかと考えている。

細部についてはまだ考えていないが、一例を出すと、「三郷区の住みよい町という個性を活かして、移住・定住の促進を図る」といったスローガンが作れるかと考えている。

**【山口委員】**

私もこれということはないが、資料を見ると、その当時、いろいろなことを話し合ったことを思い出した。

当日配布資料No.2の内容についても、事細かにやったつもりでいる。その結果、マップ委員会を立ち上げて、当日配布資料No.4の「わがまち三郷 再発見マップ」を作成したことを記憶している。

その話の中で、とにかく人口減少や交流人口等、この地域のことをもっと住民から知ってもらいたい、との意見が出た。では「どうするのか」ということで、各家庭へも配布した、「わがまち三郷 再発見マップ」を作成し、表紙に「知っているようで知らなかったこともある三郷区のことを再発見・再認識してもらおう」と記載したわけである。

来年度から地域活動支援事業がなくなる。今度は元気事業でどうするかということになる。

歴史等、そういうものを大事に掘り下げて、三郷には越後の中心であった国分寺があるため、それが出てくれば観光等、いろいろなことが出てくると思う。

また農業については、非常にテーマが大きいということで、状況を見ながら議論していこう、と以前にも話が出たと思う。しかしながら、これから避けて通ることはできない問題だと認識している。

圃場整備をしても、農業をする人がいなくなる。また、いたとしても高齢化し、産業が続かなくなるため、どうするのかということが将来的な課題だと思っている。

#### 【平田伸一委員】

はっきり言って、よく分からない。今ここで「地域活性化の方向性」ということで話しているが、今までの説明資料等を見返していくと、最終的に「地域活性化に向けて」というところに持っていくまでに地域のいろいろな団体の人たちの意見等を把握しなければならないように思う。確かに、これまでに審議してきた事業の資料ではあるが、これを見て「これを出せ」ということは無理だと思う。我々にはそこまでの力はないと思う。三郷地区を代表したものではないと思っている。

進め方として、どうなのかと思っている。

早ければよいというものでもないと思うので、やはり手順や過程が大事だと思う。その辺りを考え直してもらいたいと思っている。

また、考えたいこととして、現在、三郷区地域協議会では自主的審議事項を二項目進めてきているが、それらとの整合はどうなのか。その辺りの説明がよくされていないため、私はよく分かっていない。

そういった意味でも、あまり拙速にやる必要はないと思う。もう少し、地域協議会以外の地域団体がたくさんあるため、そういった人たちの意見をもっと反映させなければならないと思う。

確かに資料はあるが、これも数年前の資料であるため今とは状況が違うかもしれない。これを使うのであれば、検証しながらやらなければならないと思う。

そのため、具体的には特にない。しかし、私は、三郷まちづくり振興会の役員で

もあるため、やはり、「まちづくり」や「住みやすい地域」を作っていきたいとの思いは持っている。

#### 【平田清委員】

私も三郷をどう思っているかといった方向性について考えたときに、やはり三郷区のよいところよりも、どちらかというと問題点ばかりが頭の中に浮かんできってしまう。

逆にいうと、その問題点を潰すことが、今後、三郷区をよい方向性に持っていけると思う。はっきり言って、それが結論になっている。

以前にも、たくさん検討され、問題点もかなり出てきている。そこを潰すことが最初のやり方ではないかと思う。

今、「地域活性化の方向」ということで、スローガンのなものを作ろうとしているが、それは最後までよいのかと思っている。

結果として、「こういうスローガンができ、こういう方向性になった」ということがよいのではないかと考えている。

#### 【荻戸委員】

どういう方向でいけばよいのか、はっきり言ってよく分かっていない。

一つとして、課題がたくさんあるため課題を潰していけばよい、ということだが、10年、20年というかたちで流れてきた現状が、今、そういった課題となって出ていると思う。その時間とともに生まれてきた課題を、すぐに何とかできるのかとも思う。

課題はあるが、いっそのことその課題を受け入れて、逆に私としては定住してもらえるようなものがあれば一番よいが、できることであれば、外からいろいろな人来てもらえるような取組等をスローガンにできればよいと思っている。

#### 【小山委員】

私もよく分かっていない。

地域協議会委員となって2年経ったが、皆の話にやっとなついていっている感じであり、いっばいいいっばいである。

だが、今回、このように審議事項や当日配布資料等で、今まで知らなかったこと

等を改めて発見したような感覚で見ている。知らなかったことがすごくたくさんあるため、こういったことをもっと地域の皆に知ってもらえればよいと思う。

#### 【伊藤光夫委員】

先ほど、平田伸一委員の発言にもあったように、それぞれの意見も重要だが、他の地域協議会では地域住民にアンケートを取っている区もあるという新聞記事を見た。

三郷区でも時間が許すのであれば、そのような方法を実施してみてはどうか。

これまでの自主的審議の流れの中にも地域住民の意見を聞く等、いろいろなものがあつた。このように方向性を出すのであれば、アンケート等からいろいろな意見を吸い上げて、それを参考にして地域協議会で意見を出し合つてまとめていくような流れで進めていくのがよいと思う。

#### 【市村委員】

私なりに、三郷区のよいところ、どのようなことを行つていけばよいのか、といったことを簡単に考えてきた。

まず、三郷区のよいところは何かというと、正直、「自然」と「人」しかないかと思つている。

それを活かして、どのように発展させていくのか、活力あるものを行つていくのかは、今いる人たちだけではどうにもならないと思つている。そのため、外から人を呼び込むようなイベント等を定期的で開催することもよいと思つている。

先ほど、農作業をする人もどんどん減つていく、というような話もあつたが、そういう田んぼを使ったイベント等を行つて、外から人を呼び寄せるようなものを行つていくことも面白いと思つている。

例えば、春の田植え等を競技形式にして、どれだけ早く、綺麗に植えられるのか、といったコンテストや、秋の収穫時期には「稲刈り選手権」等、農業をやつてみたいと思つている人を呼び込めるようなイベント等を企画することもよいと思う。

だが、今の三郷区に残つている人の中には、そういったことを企画できる人はおそらく、ほぼいないと思う。

そのため、空き家等を提供して定住してもらえるような取り組みもよいと考えた。

### 【伊藤副会長】

私も三郷区というと、田園風景が一番よいところかと思う。妙高山も見ることができ、景色もよい。

多分、農業が一番、発信できる強みだと思うため、そういったところを生かして外に発信していけばよいと思う。

また、現在、自主的審議事項で春駒について取り組んでいるが、三郷区の文化、芸能等、まだ私たちがいろいろと知らずに眠っているものもあるかと思う。そういうところも、他の地域や高齢者等に話を聞き、もしも違う発見があれば、そういうところも掘り下げて、新たな観光といったところまで持っていくことができればよいと思っている。

### 【竹内会長】

本日は、全員の意見等を確認した。

急いで方向性やスローガンを決めるということでもないと思っている。本日は、ある程度、皆の意見を聞いて、今後、改めて詰めていかなければならないと思っている。

今日は、「手順が分からない」「考え直す必要がある」といった意見もあった。そういうところも踏まえながら、どういうかたちがよいのか、考えていきたいと思う。

また、地域からの話も聞かなければならないと思っている。地域の人たちがどう考えているのかということも大事なところであり、我々の中でも決められないところもあるかと思っている。

本日、出た意見等を事務局でまとめ、今後の協議の中で進めていければよいと思っている。

本当に急ぐことはないと思う。限られた時間しかなく、委員の任期もあるが、行政から説明があった「地域協議会としての目標」といったことを理解して考えていきたい。

また、現在進めている自主的審議事項の公民館や春駒との絡みについても、必ずしも断ち切ることもできないため、それも含めたかたちの中で今後も含めて話して

いかなければならないと思う。公民館、春駒に関しても、三郷区地域協議会や三郷地区町内会長協議会がある程度認知されつつある。公民館については、今後、新たな発展があると思う。

また、春駒についても、今年度の地域活動支援事業の採択を受けたことにより、違うかたちの発展も見えてくると思う。

そういったことも期待をしながら、活性化の方向性について、内容を詰めていきたいと思っている。

事務局から補足等あるか。

**【滝澤センター長】**

竹内会長の発言のとおりである。

本日出た意見については、どうなのかといった意見も含めて、正副会長との協議を経て、時間をかけながら協議を進めていきたいと思っている。

**【竹内会長】**

本日出た意見等を後日まとめ、地域活性化の方向性の作成というかたちで進んでいくこととしてよいかを諮り、承諾を得る。

以上で次第4議題（1）「地域活性化の方向性」の検討についてを終了する。

— 次第5 事務連絡 —

**【竹内会長】**

次第5 事務連絡に入る。事務局から説明を求める。

**【滝澤センター長】**

- ・ 次回会議：令和4年6月28日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・ 内容（案）： 自主的審議事項について  
「地域活性化の方向性」について
- ・ 次々回会議：令和4年7月26日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・ 内容（案）： 自主的審議事項について  
「地域活性化の方向性」について

- ・当日配布物：総務常任委員会「地域自治・住民自治、地域協議会、総合事務所」への提言  
まちづくり市民大学 チラシ

**【竹内会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

**【平田伸一委員】**

配布された総務常任委員会の提言に関するコメントや考えを教えてください。

**【滝澤センター長】**

これは市議会ですとまとめたものであり、特に市から、提言に対しての説明等は考えていない。

**【平田伸一委員】**

参考に目を通してほしい、という程度の理解でよいか。

**【滝澤センター長】**

主管の自治・地域振興課から、要望があれば配布するよう指示があったため、配布した。

**【竹内会長】**

提言書については、議会に提出して、市長の手元にも動いているところである。

今後とも提言の中で、どのようなかたちで議会・市政が動いてくるのか、地域協議会につなげることができるようなタイミングが、またあると思う。

他に質問等あるか。

(発言なし)

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

## 10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 1 1 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。